Planning Lecture | Technical division and Network | International Nuclear Information Network

[2E_PL]Progress of OECD/NEA Data Bank and the Japanese involvement

Chair: Atsushi Mukunoki (JGC)

Tue. Mar 28, 2017 1:00 PM - 2:30 PM Room E (16-205 Building No.16)

[2E_PL01]Progress of OECD/NEA Data Bank and the Japanese involvement

*Kiyoshi Matsumoto[1] (1. Waseda Univ.)

経済協力開発機構／原子力機関（OECD/NEA）は1958年に発足し、日本は1972年に加盟しました。OECD/NEAの一部門であるデータバンクは、原子力の研究開発に必要な核データ及び計算コードの開発、収集、妥当性検証及び提供等を実施しています。日本は1978年の設立当初から参加し、最大拠出国であり、国内登録機関数も他国を圧倒して最大です。講演者は、NEAデータバンクのHeadを2011年5月から2016年8月まで務めました。この5年数カ月の経験から、NEAデータバンクの歴史、現状、課題、日本との関係について、紹介・報告を、講演者の感想も加えてお話します。

©Atomic Energy Society of Japan